

七尾市たかしな地区活性化協議会

障害者施設との交流による活力ある地域づくり

団体の紹介

たかしな地区活性化協議会は、旧高階小学校校下にある9つの町会で構成されており、地区の活性化を目指して設立されました。人口千人不足の高齢化率の高い農村地域ですが、障害者支援施設青山彩光苑、小規模多機能型居宅介護施設たかしなの里、障害福祉サービス事業所ゆうの丘の他、古民家カフェ、ゲストハウスもあり、住民交流によるコミュニティ活動が活発に行われています。

所在地 七尾市町屋町本部55番地 高階地区コミュニティセンター内

活動内容

高階くれない太鼓の交流活動

高階くれない太鼓は地区のサークル活動として始まり、現在は住民同士のコミュニケーションの場となっています。地域の子どもや、障害者



支援施設の利用者に太鼓指導を実施し、交流会で一緒に演奏しています。障害のある人も参加しやすいように、環境面、心理面で配慮しながら、一人一人のペースで太鼓を楽しんでいます。高階を太鼓のまちにして地域の活性化を図ろうと活動中です。

カフェたかしなの集まり

高齢者、子ども、障害のある人など、世代に関係なく住民がコミュニティセンターに集まり、交流や健康増進のための活動を行っています。どなたでも参加できるよう、送迎バスが巡回しています。



手話学習会の開催

高階に移住してきた手話通訳経験者を講師に、住民を対象とした手話学習会を開催しています。認知症予防でもあり、将来的に耳が聞こえづらくなっていく高齢者のことも考えて、コミュニケーション手段の1つとして手話を学んでいます。

地区のイベントを通じた障害者施設との交流

運動会、敬老会、夏祭りなど地区のイベントには、地元の障害者施設の利用者も一緒に参加し、交流を深めています。ゴミ拾いや老人会とのポッチャを通して、障害の理解や配慮につながっています。

その他

ジャンボかぼちゃづくりや、移住者向けの冊子づくり、SNSによる情報発信など、住民主体の地域おこし活動を活発に行っており、町会ごとに避難時に配慮が必要な人の所在地がわかるような防災マップも作成しています。

